

令和4年度 宮崎県海外教育事業・国際理解教育研究会 会報

R5.2月
運営本部
文責:会長

本年度、本会の会長を務めました宮崎北中学校 渡会です。

本年度も終盤に入りました。会員の皆様におかれましては、各地域、各校にて、ご多忙の中、海外経験を生かした国際理解教育にご尽力のことと拝察いたします。

本会におきましては、ほぼ予定通りに各種業務を終えることができそうです。会員の皆様には、名簿作成へのご協力や会費納入におきまして、ご協力を賜りありがとうございました。

さて、このように会報を発出するのは初めてかもしれません。これは、本年度最後の本部役員会において、会員の皆様が本会の事業をより理解するために、本年度の取組をお知らせしたほうが良いのではないかとの意見がございましたので作成・発送に至りました。

■そもそも、本会の目的は何？

会則 第2章 目的及び事業

第1条 本会は、全国海外子女教育・国際理解教育研究並びに宮崎県教育委員会との連携を図り、海外子女教育・国際理解教育の調査研究、成果の普及促進、及び教育の国際交流の促進等の活動を行い、本県教育の向上に寄与することを目的とする。

第2条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行うことに努める。

- 1 海外教育事情についての研究調査、及び普及。
- 2 海外教育事情、及び国際理解教育についての資料の収集、提供。
- 3 研究成果の公開。
- 4 研究会、協議会、講習会等の開催及び講師の派遣。
- 5 その他、本会の目的を達成するために必要と思われる事業。

■会員は？

会則 第3章 会員

第1条 ①在外教育施設派遣事業により海外に派遣された教職員

②本会の趣旨に賛同する者

- ・文科省海外派遣事業等(短期派遣)により海外に派遣された教職員
- ・国際理解教育に関心のある者

■支部は？

会則 第6章 支部

第1条 本会の支部は、旧教育事務所毎に定める。但し、旧東白杵教育事務所管内においては、延岡支部と日向・東白杵支部を置く。

第2条 各支部には支部長を置く。支部長はその支部内の会員から選出する。

現在の支部は、9つです。

- ①宮崎 ②南那珂 ③北諸県 ④西諸県 ⑤西都児湯 ⑥日向東白杵 ⑦延岡 ⑧西白杵 ⑨県教委

■誰が運営しているの？

宮崎地域の会員の中で、会長が運営本部員としての活動を依頼し、承諾を得たメンバー(現在10名)で運営しています。各自、自校の業務で多忙を極めておりますが、集まると和気あいあいとした良い雰囲気で行っています。会長として、頭の下がる思いです。

■どんな活動をしているの？

本年度は以下のような活動を行いました。

令和4年度 事業報告

年	月	日	曜	事業内容
4	6	24	金	○ 第1回本部役員会（事業計画等打ち合わせ・令和3年度事業報告・会計報告・令和4年度事業計画・予算案審議） 於：宮崎市立宮崎北中学校
	7	8	金	○ 県海研代議員会（令和3年度事業報告及び会計報告、令和4年度事業計画案及び予算案等 審議） ○ 第2回本部役員会（帰国報告会等へ向けての諸準備） <15:00～>於：本部役員は宮崎市立宮崎北中学校 代議員は各勤務場所より Zoom オンライン
	8	5～6	金 土	○ <u>全海研全国大会（福島大会）</u> <会長、理事長参加> 於：Zoom オンライン開催 ○ <u>九州ブロック沖縄大会（Zoom オンラインにて）</u> <沖縄大会は中止>
	8	19	金	○ <u>帰国報告会（海外教育事情・国際理解教育研修大会）</u> <午後より>於：綾町ユネスコエコパークセンター
	10	7	金	○ 第3回本部役員会（「帰国報告会」反省等） 於：宮崎市立宮崎北中学校
5	1	20	金	○ 第4回本部役員会（令和5年度計画等）於：宮崎市立宮崎北中学校
	3			○ 令和5年度 <u>派遣者壮行会</u> （派遣者・本部役員参加）<コロナで中止>

「日本人学校とその国の様子」展（令和4年5月～令和5年4月）

○ 在外教育施設から帰国した教員による、派遣国の教育事情や現地での生活などの紹介

於：宮崎市立図書館・2階国際ホール

	展示期間	担当者	派遣先	所属校
1	5月1日（日）～6月25日（土）	森本 教諭	上海 日本人学校	国富町立 木脇小学校
2	6月26日（日）～8月20日（土）	矢野 教諭	マドリッド 日本人学校	日南市立 飢肥中学校
3	8月21日（日）～10月15日（土）	児玉 教頭	ロンドン 日本人学校	高鍋町立 高鍋東小学校
4	10月16日（日）～12月10日（土）	猪股 教諭	シンガポール 日本人学校	宮崎市立 本郷小学校
5	12月11日（日）～2月11日（土）	山下 教諭	リマ 日本人学校	都城市立 祝吉中学校
6	2月12日（日）～4月22日（土）	野邊 教諭	上海 日本人学校	宮崎市立 小戸小学校

帰国報告会は、今後、海外派遣に興味のある先生やそのご家族等、多数の参加をいただき盛況でした。

期 日： 令和4年8月19日（金） 会 場： 綾ユネスコエコパークセンター

日 程

時間	13:00	13:30	13:40	14:25	14:35	15:20	15:50
行事	受付	開会行事	帰国報告会Ⅰ	休憩	帰国報告会Ⅱ	日本人学校への質疑応答	まとめ閉会行事

内 容

○ 帰国報告会・・・在外施設派遣から帰国された先生方による現地での教育実践等の報告・質疑応答
《帰国報告会Ⅰ》

上海日本人学校	国富町立木脇小学校	森本 教諭
リマ日本人学校	都城市立祝吉中学校	山下 教諭
ロンドン日本人学校	高鍋町立高鍋東小学校	児玉 教諭

《帰国報告会Ⅱ》

上海日本人学校	宮崎市立小戸小学校	野邊 教諭
マドリッド日本人学校	日南市立飢肥中学校	矢野 教諭
シンガポール日本人学校	宮崎市立本郷小学校	猪股 教諭(紙面発表)



宮崎市立図書館の展示につきましては、毎年、宮崎市立図書館から展示案内があるほど好評です。

帰国後、展示の準備も大変だったと思いますが、派遣経験を県民に還元する意味でも意義のあるものになっています。

現在は、2F 国際コーナーで、都城市立祝吉中学校 山下 教諭 の「リマ日本人学校」資料の展示中です。展示にご協力いただきました先生方、ご協力ありがとうございました。



【写真は宮崎市立図書館 HP より】

派遣者壮行会に関しましては、次年度より海外へ派遣される先生方を激励し送り出す会ですが、本年度もコロナ感染対策として中止せざるを得ないと判断しました。派遣される先生方には大変申し訳なく思いますが、是非、お元気で海外生活を充実させていただきたいと願っております。

■活動費はどうしているの？

会員の皆様から年会費1,000円を徴収するとともに、教育公務員弘済会よりグループ助成を30,000円いただき運営しています。繰越金は、来る九州大会・全国大会の準備金としてプールしております。なお、年度末に会計監査を行い、決算報告は新年度の代議員会（各地区支部長参加）で行っております。

■課題は何ですか？

課題1

毎年、新年度に会員調査を行っています。各地区支部長を通じてお願いしております。また、会員の皆様から会費の納入をお願いしております。しかし、なかなか締め切り内に整わない現状があります。新年度もご協力をよろしくお願いいたします。

課題2

会員が減少傾向にあります。この会で何を行っていて、どのような貢献をしているのか広報不足なのが一因と思われます。会費だけ払わされて、どんな活動がなされているのかわからない、何の還元もない、となるというふうに考えられるのもっともです。

しかし、会員の皆様からお預かりした会費は、全海研関連の県会費や全国大会参加費（本年度は会長と理事長がZOOMにて参加）、帰国報告会会場費等、宮崎市立図書館展示に係る費用等に活用しています。

本年度の本部役員も脈々と引き継がれてきた県海研の取組を継承するべく取り組んでおります。会員の皆様には、引き続き本会へのご協力をよろしくお願いいたします。

課題3

支部によっては、派遣経験のある校長先生がいない。つまり、会員でない校長先生が支部長を引き受けてくれている支部があります。該当の支部長におかれましては、大変お世話になっております。感謝申し上げます。かく言う私も、在外教育施設への派遣経験はありません、、、すみません。

☆県海研では、HPを作成し、会員の皆様へ情報発信しています。☆ <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc060>

宮崎県海外教育事情・国際理解教育研究会ホームページ

Miyazaki 海外教育事情・国際理解教育研究会

日本のひなた宮崎県

※学校名の画像またはテキストが入ります（セッティングモードをONにして変更してください）

メニュー

- お知らせ
- 概要
- 会則
- 活動内容
- 派遣先の在外教育施設

本会について

本会は、全国海外子女教育・国際理解教育研究会や県教育委員会との連携を図り、海外子女教育・国際理解教育の調査研究、成果の普及促進、及び教育の国際交流の推進等の活動を行い、本県の教育の向上に寄与することを目的に、昭和51年から続いている研究団体です。

会員は、在外教育施設派遣事業により海外に派遣された教職員と、本会の趣旨に賛同する者(文部科学省海外派遣事業やJICA等により海外に派遣された教職員、在外教育施設派遣並びに国際理解教育に関心のある者等)を原則としています。なお、平成25年度からは、文部科学省海外派遣事業等(短期・長期・若手・英語等)により海外に派遣された教職員は任意での入会となっています。

※在外教育施設への派遣について、詳細はこちら⇒「日本人学校・補習授業校への教師派遣の概要」をクリック

次年度も引き続き会員の皆様のご協力をお願いいたします。